



君津支部かわら版



©建築士会君津支部 広報委員会



Vol.

59

令和6年1月31日発行

編集 君津支部広報委員会

発行 支部長 伊藤 啓司



浮島夕日の写真（写真提供 君津支部 和田 裕子氏）



目次

新年に寄せて
 全国大会に行ってきました
 法改正について
 鋸南支部交流会での本音
 ガウデイとサグラダファミリア展
 編集後記

支部長 伊藤 啓司
 副支部長 鶴岡 正久
 吉野 寛
 和田 裕子
 富永 麻里
 森 真理恵



2024



新年に寄せて



支部長 伊藤 啓司

鋸南町
のダム
桜

君津支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。5月に行われた通常総会にて支部長に選任されまして早8ヶ月たちますが、令和6年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年5月より新型コロナウイルスの取り扱いが2類から5類にかわり、徐々に通常の生活が戻り本部・支部の事業が活発に行われるようになりましたが、しかし新年を迎えまして突然元旦の日に石川県能登半島地域にて未曾有の大地震が発生し、2日の日にも羽田空港C滑走路にて着陸した日航機と石川県能登地方に救援物資を積んで届けようとしていた海上保安庁の航空機が衝突した事故があり、混沌とした新年を迎えることになりました。

地震・津波などによりお亡くなりになられた皆様、海上保安庁の航空機に搭乗されお亡くなりになられた隊員の皆様のご冥福をお祈りいたします。また、地震により今現在被災し被害を受けた皆様へお見舞いを申し上げると共に、被災地の皆様の無事と安全を心よりお祈り申し上げます。節度ある支援の輪が拡大して欲しいと思います。

さて、2023年度より引き続き2024年度も法令の改正が施行されます。変更になる法令は色々ありますが、直近の2024年4月から改正建築物省エネ法より“新しい「建築物の省エネ性能表示制度」”が始まり建築物の販売・賃貸時に省エネ性能の表示が求められるようになります。また、2025年度までに変更になる法令も色々ありますが、主な法令で、全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合の義務付けや4号特例の見直しや小規模住宅・建築物の構造基準の変更など改正されていきますので、国土交通省・建築士会・他団体が開催する講習会・勉強会に奮ってご参加して頂く事を推奨いたします。

法令の改正が施行される度に思うのですが、建築物の価格に反映するケースが多くこれから住宅を求める人は、坪単価が高くなり大変なことだと思います。費用対効果はありそうですが給料や賃金が上がらない中、坪単価が上がって行くのはいかがなものかと思えます。

それと、この度の大地震の被害をみて思ったのですが、古く重たい屋根・土壁の家屋（日本の伝統的な構法で築造された建築物）の倒壊が多く、やはり耐震補強は重要であり地震時に逃げる時間を稼ぎ出す方法の一つだと思いました。あと当たり前の話ですが、地盤の強い地域は倒壊が少なく弱い地域は倒壊が多かったようです。地盤が弱い地域でも倒壊に至らなかった建築物の検証がクローズアップされることが重要だと思いました。今年は建築相談の中でも耐震診断・相談が増えると思います。

結びに、天災・事故は時間・場所を選べません。仏教の教えで“永遠のものなどこの世にはない”という教えがあります。何事があってもなるようにしかならないと自分の運命だと思って、前を向いて生きてゆくしかないと思います。

今年度も会員皆様にとって良い年でありますことと共に、ご健康・ご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とします。今年もよろしくお願いいたします。以上でございます。

全国大会に行ってきました

副支部長 鶴岡 正久

新年明けましておめでとうございます。日頃より建築士会に御協力頂きまして誠にありがとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

第65回建築士会全国大会が昨年の10月27日に、東海北陸ブロック『静岡大会』として開催されました。今年は君津支部の有志の7人で『ふじの国静岡』に行ってきました。当日は、天気にも恵まれて10月とは思えないような暖かさでした。全国から大勢の会員の方達が集まり、盛大でにぎやかで楽しい大会でした。県内の他支部の会員の方達とも交流をする機会もあり、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

1日目は、まず品川駅から新幹線に乗り静岡駅に向かい、そして会場のJR東静岡駅前の『静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ』へ行きました。今回の静岡大会のテーマは『ローカルに生きる』です。会場では林業が盛んな東海地方らしく、木材や合板などの展示が多く非常に勉強になりました。その後は会場を後にして、JR静岡駅に戻り、そして偉大なる徳川家康公が築城し、大御所として晩年を過ごした駿府城に向かいました。駿府城の遺構である駿府城公園・大河ドラマ館・静岡市歴史博物館・静岡浅間神社と見学しましたが、残念ながら重要文化財である浅間神社は大改修工事中でした。

2日目は、日本平に向かい、木組架構がダイナミックで有名な日本平夢テラスを見学しました。見上げると和傘の内側を見るような架構が現れるこの建物は、世界的に有名な建築家の隈研吾氏による設計です。次に、久能山ロープウェイで久能山東照宮に行きました。権現つくりの本殿や拝殿の素晴らしい彫刻は今にも手が届くかのようであり、その全てに家康公のメッセージや教えが盛り込まれている事に感動しました。



会場入口



会場のグランシップ



静岡浅間神社



駿府城公園東御門翼櫓



駿府城二の丸跡地

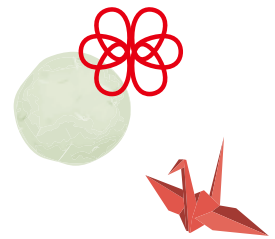
静岡
めぐり旅



日本平夢テラス



久能山東照宮



来年度は、10月25日開催の『鹿児島大会』です。会場は鹿児島駅近くの宝山ホール（鹿児島県文化センター）です。大会のテーマは、『もえよ！建築維新～たぎる地で築くみらい～』です。『鹿児島大会』は、エスカーションだけでも、全国大会ならではの色々なコースがあります。市内だけでも見どころ満載ですが、屋久島、桜島、種子島、奄美大島なども見学できます。時間があれば、再建した熊本城にも行きたいと思います。

昨年も書きましたが、建築士の全国大会の目的は、『建築士の連帯と意識の高揚を図るために、毎年1回、全国47都道府県の建築士会会員が一堂に会し、諸行事を行う中で、建築士会が担っている社会的役割と責任に対する意識の高揚を図り、建築文化の進展に寄与することを誓うと共に、まちづくり交流プラザ、セッションにおいては、広く一般市民の参加を募り、建築士に対する認識を深めて頂くと同時に、建築士会会員相互の連帯を一層深めること』としています。みんなで一緒に西郷さんに会いに行きましょう。

追伸：お正月にこの文章を考えているときに、能登半島地震が起きました。被害を受けられた方々やお知り合いのいる方々など、心よりお見舞い申し上げます。津波被害・家屋の倒壊や大規模火災・土砂崩れなどの映像を見て、以前に石川県の全国大会に参加した時の事を考えましたが、あの時の美しい風景を思い出せないほど景色が変わってしまった事に驚いています。災害は他人事ではありません。募金して終わりではありません。復興するまで、建築士として何をしたらいいのか、何ができるのか、改めて考えたいと思います。



吉野 寛

寒中のみぎり、会員様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年は、元旦に令和6年能登半島地震の発生により、甚大な津波被害や建物の崩壊の影響を受け多くの方が犠牲になりました。犠牲になられた方々には謹んでお悔やみ申し上げますと共に、いまなお支援を求める多くの被災者の方にはお見舞い申し上げます。

近年は、土砂災害ハザードマップにおける警戒区域の指定等により、災害に関する関心が高くなったとはいえ、まだまだ災害時のリスクを深刻に考えていない人も多いように思われます。このようななか、私たちは行政と協力し、耐震診断や耐震改修を行い災害に強いまちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。今後も建築主の希望を叶える建築の設計のみならず、多様な災害に対する対策を考え、建築主に適切なアドバイスができるように努めていきたいと思ひます。

さて、建築基準法では2025年に施行される改正法により今までは建築確認・検査の対象外となっていた建築物の範囲が縮小され、4号特例制度が見直されます。

詳細については、行政や民間審査機構に講習会を依頼し友好団体と共同開催していきたくて考えております。まだ1年先になりますが、施行時に慌てないように今から準備をしていきましょう。

その他、都市計画法34条11号の許可要件の見直しが進められています。いわゆる市街化調整区域内の40戸連たんによる許可です。現行では、市街化区域からの距離と40戸連たんが基準に適合していれば許可になっていましたが、見直しにより許可可能な敷地の範囲が地図に明示されることになりました。これにより今までは許可可能だった敷地が許可にならない範囲に設定される場合があります。

4市では、袖ヶ浦市が、令和6年4月1日からの施行となります。許可が可能な範囲の地図は、袖ヶ浦市のHPで閲覧できますのでご確認下さい。その他の市では、木更津市が地図を作成中で都市計画審議会、議会を経て施行されていく予定です。君津市と富津市は、それぞれの市で作成する予定は無く、千葉県での作成を待っています。今後も作成状況については、情報を共有していきたくて思ひます。

このように変わっていく様々な事柄に関し、私たちは常に多様な専門的知識を培い、建築士としての責務を果たすよう努力していきたくて思ひます。





鋸南支部交流会での本音

和田 裕子

令和5年11月11日に開催された「第42回千葉県建築士会支部交流会鋸南大会」は盛会裡に終わる事ができました。これも、みな様のご協力のお陰と感謝しています。

思い起こせば2年前、他の支部の方から「次回は鋸南支部ですね」と聞かれたので、支部役員に聞いたのですが誰ひとり知らないのです。

本部事務局に確認すると、「令和5年度開催地は鋸南です」との回答で、「嘘でしょ!」の思いで交流会の準備が始まりました。

鋸南支部は発足後まだ7年、会員数も少ないので全員が実行委員となり第1回会議開催。会議の中で最初に決めるのは日程です。

例年秋で11月と決まりましたが「5・10日」以外でと言うのです。心の中で「今どき5・10日なんてそんな事言う?昭和じゃないよ令和だぜ」と・・・でも同じく考える心強い仲間がいました。

以前君津支部にいた金光さんが富浦町に移住し現在は鋸南支部副支部長となっていました。交流会を君津支部で開催した経験もあったので、金光さんと全ての部署と連携をする事務局担当になり、次回会議までには組織を作成しました。

組織図は大きく分け全体会議、見学会、懇親会となりますが、まず全体会議のエピソードから・・・

全体会議：全体会議は司会者に委ねれば開会挨拶～閉会挨拶までスムーズに終了するのですが、実行委員会の会議で「ウェルカム太鼓を披露する」「甲冑を着る」と先輩たちは大それた事を言うのです。

披露するには太鼓借用、笛の出来る方の手配、甲冑の借入れに着付など手配が必要なのですが、結果、先輩たちの意見を尊重し実行する事となりました。そして舞台演出のプロ、金光さんのご主人が数日前から何色もの照明を仕込んでくれリハーサル。甲冑を着た鋸南支部初代会長は、リハ毎に出陣の方法が違い焦りましたが、当日の本番前には赤い葡萄のお酒を飲み滑舌が良くなり、また「見返り美人」の刺繍の立派な緞帳のおかげで全体会議は無事終了しました。

エクスカージョン：会議の中でわたしは、都市交流施設・道の駅「保田小学校」に「附属ようちえん」がオープンする（10月14日グランドオープン済）ので建物を設計した先生に施設案内をしていただくエクスカージョンを提案したのですが却下され、①鋸山・日本寺コース②頼朝ゆかりの地巡りコース③海辺のコースとなりました。

②の頼朝・・・コースは頼朝の上陸地の石碑～頼朝創設した十王堂～佐久間ダムだけの見学会で、何だか生涯学習からの視点でのコースでしたので、金光さんと相談し、トイレ休憩という目的で懇親会会場へ向かう前に道の駅「保田小学校」に寄る事にしました。②のコース担当の先輩がバス添乗でしたが、金光さんもバスに乗り間違えなく道の駅へ寄るようにさせていただきました。



第42回
千葉県建築士会支部交流会
鋸南大会





懇親会：会場となった“ばんや新館”は西側が海で天気良ければ三浦半島、富士山も望めます。お酒を飲みながら、魔法のように綺麗な夕日の“マジックアワー”楽しんで頂く予定でした。でも昨年の交流会ではベリーダンスが披露され華やかだったので、もっと派手なイベントをと思い金光さんと初代会長に「花火」の打ち上げを相談したところ「いっぺよお～」の返事。交流会最後の実行委員会会議で、初代会長に相談した事を前置きし花火打ち上げを提案しました。

予算面の心配もしていましたが、鋸南支部歴代支部長5人にご奉仕を丁重に強要し花火大会を実現する事ができました。

交流会の前日の天気は雨、当日の朝は強風、翌日も雨でしたが、交流会全体会議終了後エクスカージョン出発時には「嘘でしょ！」と思うほど風も無く良い天気となり、サプライズの花火打ち上げも大成功！

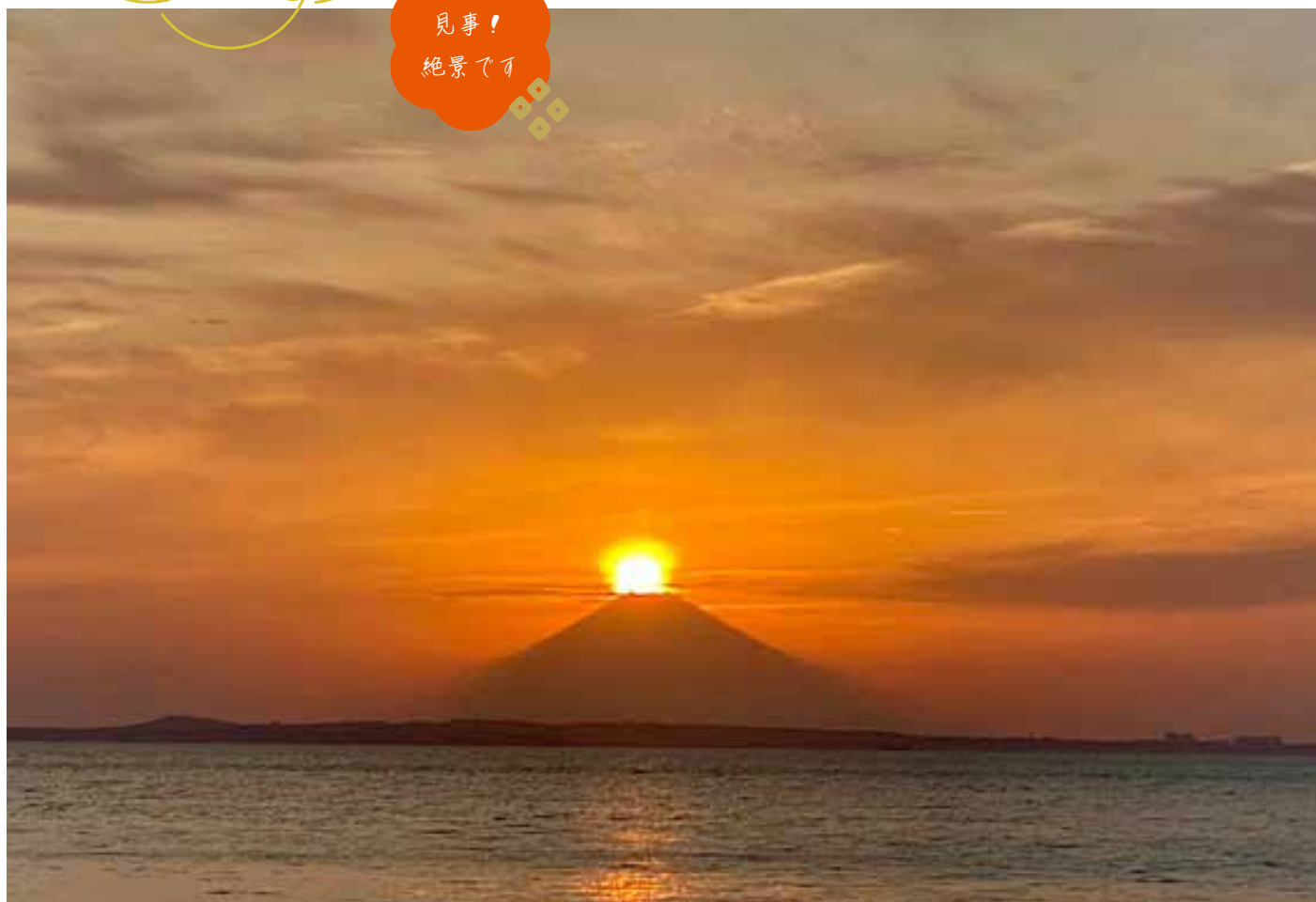
「嘘でしょ！」で始まった交流会を無事終える事ができました。



※和田 裕子さんは鋸南支部及び君津支部に所属しております。



見事！
絶景です



「ガウディとサグラダファミリア展」

青年委員 富永 麻里

2023年8月20日（日）、ガウディとサグラダファミリア展への見学会を青年委員会主催にて開催しました。ガウディとサグラダファミリア展は、東京国立近代美術館にて2023年5月23日（火）～9月10日（日）までの期間、開催されました。君津支部の見学会として3名ご参加をいただきました。また、私の母と子供たちも同行させて頂き、賑やかに楽しい時間を過ごせました。

会場ではガウディの生涯に渡って作品の解説や実際の図面も拝見することが出来、精度の高さに驚かされました。多数の展示品があり、会場は多くの人で賑わっていました。私自身ガウディの大ファンという事もあり、父とバルセロナへガウディの建築物を見る目的で10日ほど滞在した経験があります。

ガウディの作品は自然から着想を得ているものも多く、また釣り合いの法則を探るため、コロニア・グエル教会の設計で使用した逆さ吊り模型の展示もありました。

ガウディが生涯建築を愛し、自らのアイデアを形にするための考え方や行動力を様々な展示物を通じて知る事が出来ました。これは、バルセロナへ行っても見ることが出来なかった展示でもあり、とても貴重な体験でした。

また、カサ・ミラやカサ・パトリヨ、グエル公園で使用されている家具や様々な装飾品のデザインを見ることが出来ました。モザイクタイルの装飾についてもガウディらしさを感じることが出来ました。

特に、サグラダファミリアの建設当時の足場のある写真や、断面図などの図面を見ることが出来、その繊細なタッチや画力、手仕事に驚きました。

子供たちにもガウディに触れさせる経験を与えられ、また皆様にも温かく迎え入れて頂き、建築士会のメンバーと共に参加できたことがとても素敵な時間となりました。改めて、ありがとうございました。



東京国立近代美術館前での集合写真



サグラダファミリア模型

森 真理恵

最近、建築士会の会合に参加するとふと感じることがあります。もともと体育会系の私だったから感じたのでしょうか、入会当初は、建築士会は数字で凝り固まった融通の利かない先生方の団体のように思っていました。

それが今、気が付いてみるとそんな先生方が自分の気さくな師となり、冗談ばかりがでてくる気の置けない同志となって一番長い付き合いをしている団体だということに気がつきました。今回、村田委員は退任されるとお聞きしました。一番長い付き合いをする仲間のみまでいてほしかったのですが、それも時の流れかと受け入れざるを得ません。

また、代島広報委員長が今回退任される事になりました。永きにわたり私達を引っ張ってくださり、ありがとうございました。

後任は新入会員でもあります富永さんです。皆で協力してより充実した広報誌をお届けできるようにしたいと思います。



2024年1月28日（日）

だいしま恵美子建築設計室にて広報誌の校正・打ち合わせを行いました。

今月号からデザインを一新しました。記事の内容や掲載希望などございましたら、下記にご連絡ください。

広報委員 富永 麻里（mari.artworks@gmail.com）